



2020年度 女子美術大学退職教員記念展
www.joshiabi.net/exhibition2020/



デザイン・工芸学科
プロダクトデザイン専攻

田村 俊明
Toshiaki Tamura

デザイン・工芸学科
工芸専攻

工藤 直
Nao Kudou



Online
Exhibition
2020



デザイン・工芸学科
ヴィジュアルデザイン専攻

野又 穫
Minoru Nomata



アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域

山野 雅之
Masayuki Yamano



Joshiabi Galleria
n i k e

オンライン退職教員記念展

2021年1月8日[金]—27日[水]

主催：女子美術大学、女子美術大学美術館 後援：相模原市、相模原市教育委員会、杉並区

オンライン退職教員記念展

2021年1月8日[金]—27日[水]

主催：女子美術大学、女子美術大学美術館 後援：相模原市、相模原市教育委員会、杉並区

ごあいさつ

この度、女子美アートミュージアムでは「2020年度 女子美術大学退職教員記念展」を、オンライン展として開催いたします。

今年度は、以下の先生方4人の作品を展覧いただきます。

(*お名前は50音順)

工藤 直 (デザイン・工芸学科 工芸専攻 教授)

田村 俊明 (デザイン・工芸学科 プロダクトデザイン専攻 教授)

野又 穫 (デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 教授)

山野 雅之 (アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域 教授)

先生方は、長年にわたり女子美術大学で教鞭を執られ、後進の育成に携わるとともに、作家として創作活動に励んでこられました。

本展にて、その幅広い活動の軌跡をご覧いただき、本学の教育・研究に対して一層のご理解を賜る機会となれば幸いです。

2021年1月
女子美術大学美術館
館長 稲木 吉一

出展作家



デザイン・工芸学科
プロダクトデザイン専攻

田村 俊明

Toshiaki Tamura

作品

プロフィール

メッセージ



アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域

山野 雅之

Masayuki Yamano

作品

プロフィール

メッセージ



デザイン・工芸学科
工芸専攻

工藤 直

Nao Kudo

作品

プロフィール

メッセージ



デザイン・工芸学科
ヴィジュアルデザイン専攻

野又 穫

Minoru Nomata

作品

プロフィール

メッセージ

芳名帳・先生方へのメッセージ

本展覧会のご感想・先生方へのメッセージをお待ちしております。

芳名帳・先生方へのメッセージ

お問い合わせ

本展覧会に関するお問い合わせは下記よりお願いいたします。

女子美術大学美術館

TEL : 042-778-6801 (祝祭日を除く平日 9:00-18:00)

E-mail : bsk (at) venus.joshibi.jp

* (at) を@に置き換えてください

URL : http://www.joshibi.net/museum/



デザイン・工芸学科
プロダクトデザイン専攻

田村 俊明

Toshiaki Tamura

作品

プロフィール

メッセージ

プロフィール

- 1955 群馬県に生まれる
- 1973 群馬県立高崎高校卒業
- 1980 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業
- 1983 東京藝術大学大学院美術研究科環境造形デザイン専攻修士課程修了
- 1985 東京藝術大学美術学部 文部教官助手
- 1985 日本デザイン学会 研究発表（1985～2016まで、全10回）
- 1987 O氏邸新築設計（以後、新築設計3件）
- 1988 広島駅前大橋設計コンペ最優秀賞（GK設計チーム）
- 1989 二人展「やまと展」（銀座ギャラリー中沢）
- 1989 JRお茶の水駅設計コンペ佳作（GK設計チーム）
- 1989 グループ展「BECKERS-I」～2003まで、全11回
- 1990 女子美術大学芸術学部 専任講師 就任
- 1991 多摩市「瓜生せせらぎ遊歩道」SFデザイン
- 1992 相模原市「南清掃工場」煙突色彩計画
- 1993 群馬県東村そうりオートキャンプ場コンペ最優秀賞
- 1994 個展「カミサマの子供たち」（銀座ギャラリー中沢）
- 1995 女子美術大学芸術学部 助教授 就任
- 1996 埼玉県警草加警察署新庁舎基本デザイン
- 1998 杉並区上井草スポーツセンターエントランスモニュメント『生命』デザイン
- 1999 群馬県バリアフリーデザインコンペ佳作
- 2000 女子美術大学芸術学部 教授 就任
- 2002 相模原市ウエルネス相模原エントランスモニュメント『W』デザイン
- 2003 二人展「MIZU展」（銀座ギャラリー中沢）
- 2004 相模原市立麻溝公園「JAM」案内板デザイン
- 2005 相模原市「橋本台リサイクルスクエア」色彩デザイン
- 2006 相模原市「ゴミ集積所」サインデザイン
- 2007 個展「時空の海の灯台」（吉祥寺 吉祥空園「SORA」）
- 2014 中国「寧波大学科学技術院」客員教授 就任

メッセージ

女子美に来て30年・・・

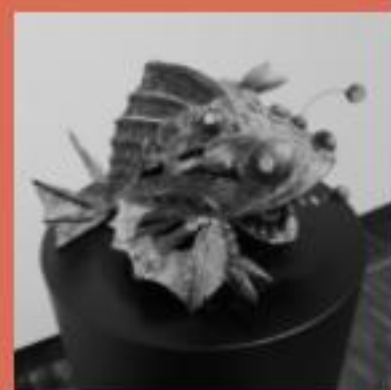
30年前、心に咲いた花は、季節を選ばず

20年前、季節に咲いた花は、時を憂いず

10年前、時に咲いた花は、場所を問わず

そして今、心の花は、、、若さを嘸わず、老いを恨まず、咲いている。

Toshiaki Tamura







アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域

山野 雅之

Masayuki Yamano

作品

プロフィール

メッセージ

プロフィール

学歴

- 1980年 3月 東京芸術大学美術部デザイン科 卒業
- 1982年 3月 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程形成デザイン専攻 修了
- 1986年 3月 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程満期退学（単位修得）
- 1988年 3月 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程学位取得（学術博士）

職歴

- 1986年 4月 女子美術短期大学専任講師
- 1989年 4月 女子美術短期大学助教授
- 1999年 4月 女子美術短期大学教授
- 2001年 4月 女子美術大学芸術学部メディアアート学科教授
- 2005年 4月 女子美術大学大学院美術研究科教授（～現在）
- 2010年 4月 女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科ヒーリング表現領域教授（～現在）
- 2010年 6月 女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科ヒーリング表現領域主任（～現在）
- 2017年 4月 学校法人女子美術大学評議員（～現在）
女子美術大学図書館長（～現在）
- 2019年 6月 女子美術大学・女子美術大学短期大学部副学長（～現在）
学校法人女子美術大学理事（～現在）

賞罰

- 1980年 3月 サロン・ド・フランタン賞
- 1981年 9月 安宅賞

主な教育研究活動

1992年度から現在までヒーリング・アート（癒しの芸術）による医療・福祉機関内での精神的ケアを目的とした環境改善の取組みの継続的な実施と社会に向けて情報を発信。首都圏を中心に国公立病院、大学病院など約40箇所の病院や介護老人保健施設などにおいて、アートプロデュースとヒーリング・アート作品設置のトータルコーディネイト、および学生による共同制作の指導を行ってきた。

主なヒーリング・アートプロジェクトの取組み

（アートプロデュース、作品設置トータルコーディネイト、制作指導）

- 国立療養所千葉東病院外来壁面（1993年～1998年）
- 千葉県がんセンター外来壁面（1993年～1994年）
- 北里研究所メディカルセンター病院小児病棟通路壁面（1997年～2007年）
- 国立国際医療センター小児病棟壁面（1998年～2000年）
- 日本赤十字社医療センター小児外来通路壁面（1997年～1999年）
- 日本赤十字社医療センター診療棟各階壁面（1999年～2000年）
- 津久井赤十字病院新棟各階壁面（2001年）
- AFLACヘアレンツハウス各階壁面（2001年）
- 日本赤十字社医療センター入院棟談話室壁面（2002年）
- 介護老人保健施設セララ逗子各階壁面（2002年～2003年）
- 北里研究所メディカルセンター病院新館産科病棟病室ドア、壁面（2004年）
- 横浜国立大学医学部附属病院小児病棟処置室（2004年）
- 国立成育医療センターエントランスガラス面（2005年）
- 三重県立看護大学図書館前ロビー壁面（2005年）
- 日本赤十字社医療センター健康棟通路壁面（2005年）
- 横浜国立大学附属病院小児病棟処置室（2006年）
- 横浜国立大学附属病院外来待合壁面（2006年）
- 東京女子医科大学病院小児病棟壁面・ドア・ナースステーション（2006年）
- 済生会横浜市東部病院外壁壁画（2006年）
- 茨城県立こども病院CTスキャナ検査室（2007年）
- 横浜国立大学附属病院連絡通路ガラス面（2007年）
- いずみこどもプラザ 児童室・ロビーガラス面（2007年）
- 東京女子医科大学病院小児病棟・プレイルーム（2007年）
- センヘル逗子クリニック 人工透析室（2007年）
- 松本歯科大学病院小児歯科・矯正歯科・特診エリア壁面、ドア、天井（2007年）
- 茨城県立こども病院心臓カテーテル検査室（2008年）
- いずみこどもプラザ 子育てひろば（2008年）
- 松本歯科大学病院小児歯科・特診エリア・授乳室壁面（2008年）
- 茨城県立こども病院 X線TV透視室（2009年）
- 磐田市立総合病院 地域周産期母子医療センター正面玄関前壁面及び各階病棟通路壁面（2010年）
- 国立成育医療研究センター手術室前壁面（2010年）
- 国立国際医療研究センター病院NICU室・GCU室壁面（2010年）
- 国立国際医療研究センター病院産科・婦人科・小児科病棟壁面（2010年）
- がん・感染症センター東京都立駒込病院 緩和ケア病棟ナースステーションカウンター及びラウンジ天井（2011年）
- 東京理科大学神楽坂キャンパス5号館壁面（2011年）
- がん・感染症センター東京都立駒込病院小児外来プレイスぺース及び診察室壁面（2011年）
- がん・感染症センター東京都立駒込病院緩和ケア病棟多目的室壁面（2011年）
- がん・感染症センター東京都立駒込病院リニアック室壁面（2012年）
- 特別養護老人施設「玉成苑」エントランス 1階 3階居室通路壁面（2012年）
- 特別養護老人施設「玉成苑」1階、2階居室通路壁面（2013年）
- 北里大学病院X線検査室（2013年）
- 東京都立小児総合医療センター3階通路壁面（2013年）
- 東京都健康長寿医療センターリハビリセンターフロア壁面（2013年）
- 心身障害児総合医療療育センター プレイスぺース壁面・柱（2013年）
- 東京都健康長寿医療センター12階緩和ケア病棟壁面（2013年）
- 東京都立小児総合医療センター6階、7階病棟通路壁面（2014年）
- 北里大学新病院小児外来、小児病棟壁面・天井（2014年）
- 立正佼成会附属佼成病院外壁（2014年）
- 北里大学新病院小児外来待合、小児病棟プレイスぺース壁面・天井（2015年）
- 千葉県流山市 東葛病院新病院各階エレベーターホール壁面（2015年）
- 小林歯科医院 待ち合い、治療室、トイレ壁面（2016年）
- 順天堂大学医学部附属練馬病院 エスカレーター踊り場壁面（2019年）
- 国立病院機構村山医療センター 談話室壁面（2019年）

メッセージ

「まだはもうなり」
この言葉を聞いて、皆さんはどういった意味を想像しますか？
私が小学校6年生の時に習った国語の教科書に載っていた、作家、幸田文さんが書かれた「アカ」という短編小説の中の言葉です。
小説では、楽しみにしていることが、まだ先と想っていても必ずもうすぐやってくるという意味で使われていました。
しかし私は、この言葉の持つ意味を、「まだこれから先と考えていることでも、いつか終わりがくる。」
その様に感じ取ったことを覚えています。
どんな物事にも必ず、もう終わってしまった、その時が過ぎてしまったと実感する瞬間が来ます。
例えば、友達と一緒にに行くことを楽しみにしていたテーマパーク。
やっとチケットを手に入れた大好きな歌手のコンサート。
ずっと待ち望んでいたことも必ず終わりの時が来る。
そして過ぎ去った出来事となります。
未来（これから先のこと）が、現在（今）になり、現在（今）が過去の出来事（記憶・思い出）になる。
こうした様々な日々の出来事の積み重ねで時が経過し、人の一生は成り立っています。
そして、最後に命の終わり、死を迎える瞬間（とき）が誰にでも訪れるのです。
「まだはもうなり」、この言葉の意味を学生の皆さんが大学生生活を送る中でも、是非、自身に問いかけてみてください。

山野雅之

Masayuki Yamano

社会連携教育研究活動の記録

医療・福祉空間における ヒーリング・アートプロジェクトの実践記録

山野 雅之

記憶の中のステップ

SEA WAVE

制作：2016-2020 水着紙にアクリルカラー・彩色

山野 雅之

くまちゃんの冒険-I

制作：2006 水着紙に水性ボールペン

山野 雅之

くまちゃんの冒険-II

制作：2006 水着紙に水性ボールペン

山野 雅之

くまちゃんの冒険-III

制作：2006 水着紙に水性ボールペン

山野 雅之





デザイン・工芸学科
工芸専攻

工藤 直

Nao Kudo

作品

プロフィール

メッセージ

プロフィール

経歴

1955 奈良生まれ
1974 奈良女子大学文学部附属高等学校卒業
1979 立命館大学卒業
1986 東京ガラス工芸研究所基礎科第4期卒業
1987 東京ガラス工芸研究所研究科第4期修了
1987-90 東京ガラス工芸研究所助手
1990-99 東京ガラス工芸研究所講師
1991-98 女子美術大学芸術学部工芸学科非常勤講師
1998-04 女子美術大学芸術学部工芸学科助教授
2004- 女子美術大学芸術学部工芸学科教授

所属

Japan Glass Art Society (事務局長)

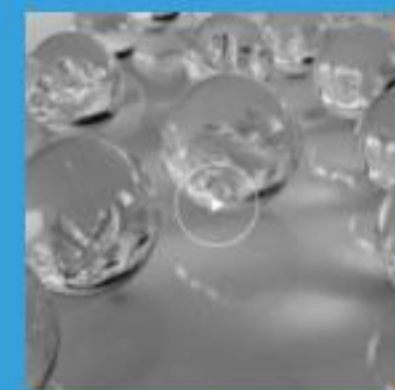
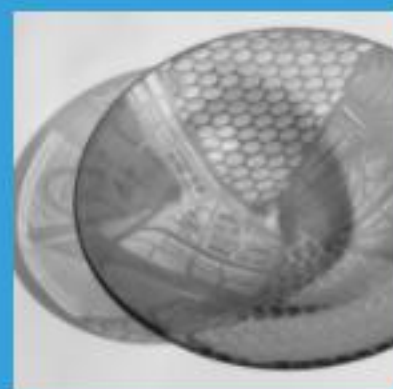
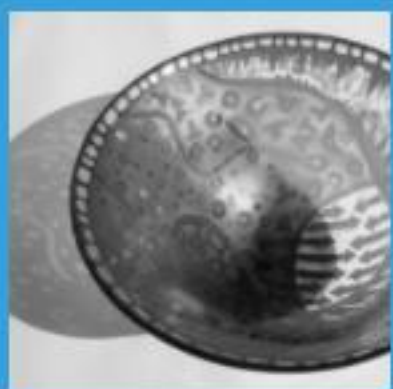
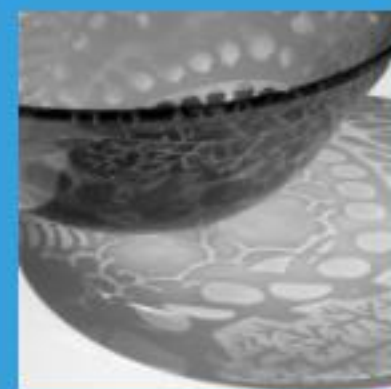
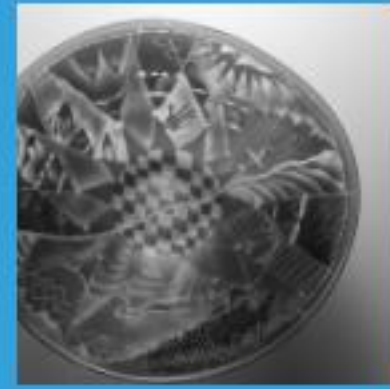
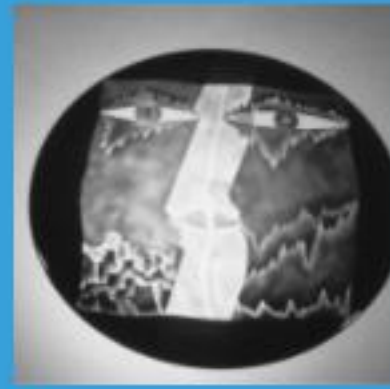
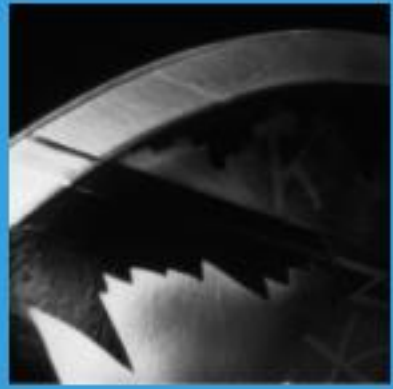
主な展覧会歴

1986 神奈川県美術展入選(神奈川県民ホール) ('88,'89,'90,'91入選、'89特別奨励賞受賞)
1987 日本現代工芸美術展入選(東京都美術館) ('88,'89,'90,'91,'92,'93,'95,'99,'04入選)
1989 第1回個展 "Glass Nao" (グラスギャラリー九段、東京)
1992 個展 "Glass Nao" (グラスギャラリーコア、大阪) ('93,'94,'96,'97)
1994 日本現代ガラス展(能登島ガラス美術館、町田市立博物館)
1995 個展 "Glass Nao" (ギャラリースペース游、相模原)
1997 個展 "Glass Nao" (ギャラリー美沙和、埼玉)
ガラスアート'97伊丹入選(伊丹市立工芸センター、兵庫) ('03入選)
1998 個展 "Glass Nao" (柴山画廊、銀座東京)
個展 "Glass Nao" (グラスギャラリーカラニス、青山東京) ('01,'04,'06,'09)
2000 彫刻との出会い (ギャラリースペース游、相模原)
2006 かわさきガラス作家展(川崎市産業振興会館)
Glass Appeal(目黒区民ギャラリー)
2010 かわさき発ガラス作家展(川崎溝の口KSPギャラリー)
む・す・ぶ展(あーとらんどギャラリー、香川) ('12,'14,'15)
2011 東京ガラス工芸研究所創立30周年記念卒業生ガラス作家展(川崎市民ミュージアム)
浅原千代治とその仲間たち展(おおつき画廊、福島)
2012 ジャパン・グラス・アート・ソサエティ会員展(ベルセーブギャラリー、静岡)
2013 かわさきガラスWORLD2013香水瓶展(アートガーデンかわさき)
2014 Living with Glass Art ~水と花と涼風と~(日本橋三越本店)
2015 女子美術大学ガラスコース教員展(誠文堂ギャラリー、相模原)
2016 個展 "Glass Nao" (おおつき庵、福島)
"創る、伝える、繋がる"女子美術大学工芸専攻教員作品展(JAM)
2017 浅原千代治とその仲間たち展(おおつき庵、福島)
Engraved Glass Art 彫刻ガラスアート展(ギャラリー永谷、吉祥寺)
2018 Japan Glass Art Society 会員展(ギャラリーマロニエ、京都)
2019 ジャパン・グラス・アート・ソサエティ会員展(おおつき庵、福島)

メッセージ

人と人とのふれあいが制限された今、人の手が作り出すモノを通して互いに繋がりあえる
と信じます。 电脑の世界でリアルさが失われそうになっても、モノの力の存在は強くなるは
ずです。 手の力を信じて造り続けて下さい。

Nao Kudo







デザイン・工芸学科
ヴィジュアルデザイン専攻



野又 穂

Minoru Nomata

作品

プロフィール

メッセージ

プロフィール

1955年東京生まれ。1978年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。マッキンゼーエリクソン博報堂でアートディレクターを務める傍ら、実在しない建造物を絵画として描き始める。1986年に佐賀町エキジビット・スペースで初の個展「STILL-静かな庭園」を開催。以後、主に東京、広島、群馬などで個展、グループ展、コミッションワーク等、美術作家として活動を続ける。

1995年 芸術選奨 新人賞受賞。

2020年にはWhite Cube（ロンドン）のウェブサイトで Online Viewing Room 'Introductions': Minoru Nomataを開催。同年イスラエルの現代美術館、Museum on the Seam で開催されたグループ展 'Metropolis'にも参加している。

主な展覧会に「カンヴァスに立つ建築 -Architecture on Canvas-」（2004年 東京オペラシティ アートギャラリー）、「もうひとつの場所 -野又穂のランドスケープ/Alternative Sights」（2010年 群馬県立近代美術館）、「空想の建築 -ピラネージから野又穂へ」（2013年 町田市立国際版画美術館）など。

主な作品集として「視線の変遷/Points of View」（2004年 東京書籍）「もうひとつの場所/ALTERNATIVE SIGHTS」（2010年 青幻舎）、「Elements -あちら、こちら、かけら」（2012年 青幻舎）などがある。

www.nomataminoru.com

美術家としての活動のほか、2014年より女子美術大学 デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻教授を務める。

メッセージ

2012年、東日本大震災の翌年に女子美の非常勤講師として初めて教育の場に立ちました。大学を卒業し広告代理店に6年勤務した後、30年以上絵画制作を生業としており、自分が教員になるとは考えたこともありませんでした。これまでデザインやアートに関わったことで、たくさんの人々との幸運な出会いがあり、女子美術大学の教職は其中でも転機と言えるものです。

美術表現を介して生まれるコミュニケーションの力は、広大で可能性に満ちています。現在はコロナ禍という困難な状況ではありますが、柔軟な希望をもって未来への歩みを進めてください。

今回のオンライン展示は、2012～2020年発表作品からセレクトしたものです。

Minoru Nomata

